

施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
企画財政部	山口 伴尚	63-7389 (総合企画政策室)

施策体系	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本施策	4	広域連携の推進
	施策	1	広域連携

1. 施策の基本方針

Plan

- ・伊賀市との広域的な連携を強化し、多様な主体とも協働して、魅力ある圏域づくりに取り組みます。
- ・名張川流域の周辺地域との連携を強化して、多様な交流を積極的に促進します。
- ・近畿と中部を結ぶ結節点として地域間ネットワークの創造に取り組みます。

2. 目標

重点目標

Plan

- ・伊賀圏域における政策連携を推進し、伊賀ブランドの創出、観光戦略の構築、救急医療、防災・消防など、効果効率的な広域行政を展開します。
- ・名張川流域の周辺地域の動向を踏まえつつ、観光振興、地域医療の充実、災害対応など幅広い連携・交流を進めます。
- ・能楽や乱歩にゆかりのある地域との交流を引き続き進めるとともに、交流のための組織化やイベントの開催など、多様な分野における交流ネットワークを創造します。

目標達成に向けた課題

Plan

- ・二次救急医療の確保と連携型の医療体制の構築が伊賀圏域の重要な課題となっています。こうした救急医療の動向を踏まえつつ、消防広域化について、引き続き検討を進める必要があります。
- ・限られた医療資源を効果・効率的に活用するため、奈良県の周辺地域との連携を強化する必要があります。

施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
名張市周辺の市町村の公共施設(教養・文化・レクリエーション施設・温泉施設等)を利用した市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	66.0	68.0	
	成果	64.2	62.2	60.3	61.4			0%
伊賀圏域において共同処理している事業数【延べ値】 (件)	目標	-	-	-	-	5	5	
	成果	4	4	4	4			0%
環境や防災など近隣市町村等と共同で取り組むことが効果的な分野で、連携が行われている件数【延べ値】 (件)	目標	-	-	-	-	14	16	
	成果	12	12	12	13			25%
地域間交流による文化・物産等の共同事業への参加回数【延べ値】 (回)	目標	-	-	-	-	41	69	
	成果	8	20	26	38			49%

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・伊賀市をはじめ関係病院等との緊密な連携を行い、伊賀圏域における二次救急医療の確保に努めるとともに、消防広域化について、協議、検討を実施しました。
- ・奥宇陀・山辺地域(奈良県曽爾村・御杖村・山添村)との県境を越えた医療連携を強化するため、「地域医療連絡会議」を設置し検討しました。
- ・東大和西三重観光連盟などにより、広域観光の振興に取り組みました。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・名張市観光協会をはじめとした各種団体と連携し積極的に各種イベント等へ参画するなど、名張市の情報発信を行いました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 1 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2010 (H22)	2011 (H23)			
6014	広域連携推進事業	総合企画政策室	150	0	継続(拡大)	B	B
合計(単位：千円)			150	0			
小計(うち、一般会計分)			150	0			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0			

5. 部局による施策評価

Check

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・伊賀圏域における消防広域化について、広域化の意義を再確認し、国の動向も見据えながら広域化の実現に向けて進めていく必要があります。 ・交流・連携の取組を拡大し、全国的に名張市の知名度を高めるため、引き続き東大寺サミットへの参画や東京都豊島区との交流を促進する必要があります。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

<ul style="list-style-type: none"> ・伊賀圏域の重要課題である安心できる二次救急医療体制の整備に向け伊賀市と連携して取り組むとともに、消防広域化について、国の動向も見据えながら引き続き協議を進めます。 ・東大寺サミットへの参画、宮城県塩竈市・東京都豊島区における「乱歩狂言」の公演誘致による名張市の情報発信とともに、地域間ネットワークの創造に取り組みます。 ・東日本大震災の発生を受け、災害が広域化していることから災害にかかる広域的な連携を推進します。 ・地域医療連携を強化するため、奥宇陀・山辺地域との取組を契機とし、両県、関係地域・機関の相互協力を促進します。

7. 総合評価

評価
C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる
評価理由及びその他(意見)
<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携の推進には、全市民的な気運の盛り上がりが必要であり、このための取組検討が急務である ・観光の広域化は、現在の組織や他団体の広域組織との有機的な連携ができるような取組強化が必要である